

平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月27日

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス
 コード番号 2362 URL <http://www.yumeshin.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 矢島 英一

TEL 03-5981-0672

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日

平成23年6月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	2,868	11.1	364	1.8	365	△1.5	160	△44.6
22年9月期第2四半期	2,582	△19.5	357	△23.4	370	△18.0	289	13.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	2.64	—
22年9月期第2四半期	4.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	4,883	1,801	36.9	30.08
22年9月期	5,082	1,956	38.5	31.25

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 1,801百万円 22年9月期 1,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	1.00	—	1.00	2.00
23年9月期	—	1.00	—	—	—
23年9月期 (予想)	—	—	—	1.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	7.0	620	19.2	620	12.3	350	△18.8	5.45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年9月期2Q	74,573,440株	22年9月期	74,573,440株
② 期末自己株式数	23年9月期2Q	14,683,584株	22年9月期	11,967,784株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年9月期2Q	60,777,175株	22年9月期2Q	65,090,723株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第2四半期連結累計期間】	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成23年5月27日(金)・・・・・・・・・・機関投資家向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益に一部持ち直しの動きが見られるものの、先行き不透明感から雇用、所得環境は依然として厳しく、また円高基調の為替相場、国の経済対策の一部終了による反動により、足踏み状態が続いております。

建設業界におきましては、公共事業の減少、民間設備投資の手控えは続いているものの、住宅ローン減税を背景に、マンション販売が順調に推移し、それにともない新築マンション着工戸数も緩やかな回復を見せております。

このような事業環境の下、当社グループの中核事業であります建設現場への技術者派遣事業におきましては、首都圏の新築マンション着工戸数が、前年同期と比較しまして倍増したものの、ゼネコンの正社員採用の増加は見送られていることから、技術者派遣需要は安定して高い水準となり、6ヶ月間の技術者派遣の平均稼働率は97.7%となりました。

保育園事業におきましては、保育サービスの需要が高い東京都および神奈川県において、認証保育所を開設していくという方針のもと、平成23年4月1日に神奈川県横浜市に横浜市認定保育室を、同日、東京都杉並区に杉並区認証保育所を開設いたしました。

医療介護支援事業におきましては、高齢化社会が進む中、医療介護サービスのニーズの増加を背景に、より良い医療介護サービスを提供し、高齢者の方々がより活き活きと生活をおくれる環境を整備するという社会的使命の高い事業を推進するべく、介護施設の開設、運営に向け準備中であります。

また、IT事業参入への礎として、平成23年1月11日付プレスリリース「株式会社ユニテックソフトの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」のとおり、システムエンジニア派遣事業を営む、株式会社ユニテックソフトを子会社化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,868百万円(前年同四半期比11.1%増)、営業利益高364百万円(前年同四半期比1.8%増)、経常利益365百万円(前年同四半期比1.5%減)、四半期純利益160百万円(前年同四半期比44.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて198百万円減少し、4,883百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少188百万円等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて43百万円減少し、3,081百万円となりました。これは主に、長短借入金の減少970百万円と社債の増加850百万円等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて154百万円減少し、1,801百万円となりました。これは主に、四半期純利益として160百万円計上いたしましたが、剰余金の配当62百万円と自己株式の取得265百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の業績は、概ね計画通り進捗しており、通期業績につきましては、平成22年10月29日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、平成23年4月22日に開示いたしました「株式会社フルキャストテクノロジー株券等に対する公開買付け開始のお知らせ」にある通り、当社は現在公開買付けを実施中でありこれによる業績に与える影響及び、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災による業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、今後明らかになり次第速やかに適時開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(固定資産の減価償却の算定方法)

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,831,444	2,019,777
受取手形及び売掛金	863,753	721,099
たな卸資産	1,239	1,341
その他	150,118	321,809
貸倒引当金	△65,709	△36,773
流動資産合計	2,780,847	3,027,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	737,699	703,062
減価償却累計額	△80,870	△68,966
建物及び構築物(純額)	656,829	634,095
土地	577,503	577,503
その他	61,332	38,395
減価償却累計額	△20,975	△19,660
その他(純額)	40,356	18,734
有形固定資産合計	1,274,689	1,230,333
無形固定資産		
のれん	97,868	30,616
その他	6,157	5,881
無形固定資産合計	104,025	36,497
投資その他の資産		
その他	773,950	841,332
貸倒引当金	△50,131	△53,319
投資その他の資産合計	723,819	788,012
固定資産合計	2,102,534	2,054,843
資産合計	4,883,381	5,082,098
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,381	8,362
短期借入金	42,000	22,000
1年内償還予定の社債	220,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	384,164	580,000
未払法人税等	28,630	1,056
賞与引当金	39,387	39,387
その他	338,470	350,816
流動負債合計	1,064,034	1,101,623

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
固定負債		
社債	1,130,000	400,000
長期借入金	825,489	1,620,000
その他	62,385	4,231
固定負債合計	2,017,874	2,024,231
負債合計	3,081,908	3,125,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	867,545	867,545
利益剰余金	1,787,870	1,692,961
自己株式	△1,640,885	△1,375,291
株主資本合計	1,819,676	1,990,362
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,203	△35,919
評価・換算差額等合計	△18,203	△35,919
少数株主持分	—	1,799
純資産合計	1,801,473	1,956,243
負債純資産合計	4,883,381	5,082,098

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	2,582,140	2,868,924
売上原価	1,752,930	1,962,476
売上総利益	829,209	906,447
販売費及び一般管理費	471,486	542,360
営業利益	357,722	364,087
営業外収益		
受取利息	2,060	2,044
受取配当金	3	5
投資事業組合運用益	20,953	23,086
受取家賃	42,199	36,551
助成金収入	23,509	—
補助金収入	—	32,388
その他	10,091	11,330
営業外収益合計	98,817	105,407
営業外費用		
支払利息	32,541	27,856
社債発行費	—	29,670
解約精算金	—	22,426
賃貸収入原価	15,434	12,546
支払手数料	24,000	—
その他	13,702	11,543
営業外費用合計	85,678	104,043
経常利益	370,862	365,451

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14,801	1,852
その他	99	—
特別利益合計	14,901	1,852
特別損失		
固定資産除却損	—	18,253
投資有価証券評価損	—	21,115
特別退職金	6,103	—
役員退職慰労金	4,314	—
その他	—	896
特別損失合計	10,418	40,265
税金等調整前四半期純利益	375,345	327,038
法人税、住民税及び事業税	13,915	25,558
法人税等調整額	86,771	141,893
法人税等合計	100,687	167,451
少数株主損益調整前四半期純利益	—	159,586
少数株主損失(△)	△14,910	△720
四半期純利益	289,568	160,306

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本準備金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	805,147	867,545	1,692,961	△1,375,291	1,990,362
当第2四半期連結累計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△ 62,605		△62,605
四半期純利益			160,306		160,306
連結範囲の変動			△ 2,792		△2,792
自己株式の取得 ※				△265,594	△265,594
当第2四半期連結累計期間末までの変動額合計	—	—	94,908	△265,594	△170,685
当第2四半期連結累計期間末残高	805,147	867,545	1,787,870	△1,640,885	1,819,676

※平成22年5月14日、10月29日、12月15日及び平成23年2月15日の取締役会決議に基づき、2,715,000株取得いたしました。